

病院だより



'99秋号

平成11年11月1日発行

木村病院

福井県坂井郡金津町南金津32-13-1
TEL 0776-73-3323



ナイスケア木村 竣工式 平成11年7月24日

「打てば響く」・・・よりよきコンプライアンスを求めて

◆医療法人 至捷会 木村病院 院長 大屋 栄一◆

最近病院では薬剤師の先生が、薬剤管理指導をしている。その中で服薬コンプライアンスという言葉が出てくる。よいコンプライアンスは明確な服薬指導で意義を知り決められた通りに服薬していただける場合をいう。ノン・コンプライアンスはどれだけ多く指導しても全くででたために服薬してしまう場合をいう。無理に訳すと、「服薬遵守」という言葉になる。

内科では、肺や心筋や血管の「伸びやすさ」を表すのにコンプライアンス(C)が用いられる。これは、ある圧(ΔP)を加えたときにどれだけ容積が変化するか(ΔV)をいい、 $C = \Delta V / \Delta P$ という数式で表される。これは正確ですが、一般的には少し難しいかもしれません。

具体例をあげる。みんなで決めたことを、次の日からこの注意を守っている。この時は良好なコンプライアンスの持ち主と感心する。しかし別の人では何度注意しても変えられない、ノン・コンプライアンスな人だと思ふ。組織である病院でも同じことがいえる。組織が硬直して、会議をしても、いつも改善されず同じことばかりいうのは「ノン・コンプライアンス」と叫びたくなる。もちろん「コンプライアンス」が良すぎて先走りも困る。木村病院はみなさんの声や要望にコンプライアンスよく答えられる病院でありたい。私自身できるだけ適切なコンプライアンスで、患者さんの小さな声にも対応したいと心がけている。

「打てば響く」。そっと叩いても大きな音でなく、良質の音を出したい。皮がゆるんだり破れた鼓にはなりたくない。よりよきコンプライアンスを求めて…みなさんの協力を期待する。





医学最新情報

外科 齋藤 貢



9月より当院に赴任しまして、まだ短期間しかたちませんが、地元金津町出身でありますので、近所の方

や、昔御世話になった方と御会いする機会が随分あり、とても懐かしい思いがしております。担当は外科ですが、私を御存じの方はどうぞお気軽に声をかけて下さい。

福井医科大学第一外科におきまして大腸癌の研究に携わりましたので、最近何かと話題になる癌関連遺伝子について紹介します。

近年、日本人の大腸癌は増加しています。食生活の変化（脂肪摂取量の増加）が原因といわれています。癌死者数で見ると、胃癌、肺癌について第3位です。また大腸癌死者数は、最近20年間で2倍以上に増えており、将来胃癌を追い抜くのではないかともいわれています。癌関連遺伝子の研究は、あらゆる癌ですすめられていますが、この増加する大腸癌がいかに発生するかは、多くの研究者において大きな関心事となっております。

癌関連遺伝子には癌の発生、進展に促進的に関与する（アクセルに例えられる）癌遺伝子と、抑制的に働く（ブレーキに

例えられる）癌抑制遺伝子があります。分子生物学の発展に伴って、癌はこれら複数の癌関連遺伝子の変異が細胞内に蓄積し、その結果として細胞増殖の制御ができなくなるといふ遺伝子の疾患であることがわかってきました。大腸癌においては、癌抑制遺伝子のras、癌抑制遺伝子のAPC、p53、MCC、DCC、などが知られています。異論もあるようですが、APC遺伝子の変異によって腺腫が発生し、さらにras遺伝子の変異が加わって腺腫の大きさや異型性が増し、さらに、p53遺伝子やMCC遺伝子の変異が生じて癌が発生し、DCC遺伝子の変異によってさらに悪性化し転移すると推測されています。また最近では、癌抑制遺伝子、癌抑制遺伝子に次ぐ第三の遺伝子として、DNMT3スマツチ修復遺伝子が注目されています。この遺伝子はDNA複製時に異常が生じてても正常に修復を行いますが、その異常が癌化に関与するとされています。これら癌関連遺伝子の研究が進めば、遺伝子治療や、患者の腫瘍の遺伝子の解析により悪性度が高い（転移をする可能性が高い）と判定されるものについては、それに合わせた治療方針の決定の参考になったりします。まだまだ研究途上の分野ですが、これからの研究の進展、臨床への応用が大いに期待されています。



豆知識

◆〈介護・保険〉◆

介護保険の要介護認定が10月1日から始まりました。サービスを受けたい高齢者は、市町村の窓口申請して下さい。訪問調査の結果と、かかりつけ医の意見書で「要支援」か「要介護1~5」に認定されると、介護計画を立てられ、来年4月から、サービスを受けられます。かかりつけ医の意見書が必要な方は遠慮なく御相談下さい。



☆現在薬剤師が、病院の入院患者さんに服薬指導を行っています。

服薬指導について

◆服薬指導とは？

- ① 医師の指示通りの薬を服用しているか、薬を時間通りに服用できているかの確認。薬の服用を忘れた時の対処方法の説明をします。
- ② 薬の名前、効能・効果の説明をします。何の薬か分からずに不安に思いながら薬を服用するより、薬の名前・効能・効果を理解して安心して薬が服用できます。
- ③ 主な副作用の説明をします。薬の副作用を理解すると、体調の変化があつた場合の対処が早くなりします。等を説明し、薬の必要性を理解していただくようにしています。服薬指導の方法としては、患者さんのベッドサイドにお邪魔して行っています。また、医薬品情報管理室を設けて、医薬品の最新情報収集、患者さんのお薬の重複のチェック、相互作用の検討等を行っています。

◆一つ一つのお薬には、それにあつた服用時間があります。それは、薬が最も効果的に作用し、また、副作用を少なくするように考慮されて決められたものです。

服用時間

- 食 後…食事の三〇分くらい後
 - 食 前…食事の三〇分くらい前
 - 食 間…食事後二時間くらい
 - 食 直後…食事後すぐに
 - 食 直前…食事を始める少し前
 - 就 寝 前…寝る前
- 服用時間は、お薬の袋にもかいてあります。服用時間を守って正しく服用して下さい。

◆お薬に関して分からない事があつたら遠慮なくお尋ねください



手術室から

当院の手術は、外科・整形外科・耳鼻科・眼科等に分かれており、外科では内臓疾患による臓器摘出や痔核根治術、整形外科では骨折による骨接合術や弾発指、耳鼻科では鼓室形成術や声帯ポリープ摘出、又眼科では、白内障や散粒腫などの手術が行われています。

手術はお腹や手、足など部位にメスを入れるので痛いのではないかと不安の声が聞かれますが、すべて麻酔を行い痛みを消失させて手術するので、術中の痛みは全く感じません。この麻酔は手術する部位や時間、年齢などにより麻酔方法が変わります。内臓疾患による開腹手術や小児科の手術などでは、全身麻酔が適応され、機械で人工的に呼吸を行うので長時間の手術に利用されます。下半身の手術に使われるのは、腰椎麻酔で、腰に施行します。他に手術部位に直接施行する局所麻酔や、手術する部位に通じる神経根に施行する伝達麻酔があります。これらの麻酔作用や術中の出血などにより、血圧変動や気分不良などを来すことがあります。この異常を早期に発見する為、血圧や脈拍測定、顔や口



唇色のチエックをしています。「痛み」に対する不安の他に、裸になることへの羞恥心や何をするのかわからないという恐怖感など、患者さんからの訴えは聞かれますが、現在は手術目前にスタッフが（患者さんの）病室に訪問し少しでも不安が軽くなるよう患者さんと話しをしたり手術や麻酔方法を簡単に説明しています。今後も、患者さんが安全に、安心して手術を受けていただける様、スタッフ全員で努めていきたいと思えます。

ギャラリー

8/25 糖克会交流会 (於 北潟湖畔荘)

糖克会会員（糖尿病の患者さんの会）交流会が開催され陶芸に挑戦しました。芦原焼き 陶芸家 久世 武助先生の御指導で個性豊かな作品ができました。病院ロビーに展示しています。ご覧ください。



教室紹介

今回いくつかの教室を紹介します。

① 糖尿病教室 …… 当院では毎月第三土曜日に糖尿病教室を行なっています。ぜひ、ご参加ください。



② 高血圧教室 …… 春と秋の年二回開催しています。秋は11月16日に教室を開きます。一緒に勉強して寒い冬を乗りきりましょう。参加ご希望の方は内科受付、又は栄養部までご連絡下さい。





フォーラム木村



第三回「99」フォーラム木村が開催されました。

9月22日（水曜日）ナイスケア木村5階研修講堂にて、医療法人 至捷会職員全員および関連施設の特別養護老人ホーム「豊楽園」の職員が参加し各部門ごとに研究・実践した成果を発表しました。

プログラム（進行順）

1. 脳梗塞患者の排尿自立への援助
2. ケアプラン策定の重要性について
3. 中間浴を取り入れての効果
4. 介護保険（保険料とその納め方）、利用できるサービスについて
5. 障害が受容できるまでの看護職の関わり
6. 白内障手術患者の看護を見直して
7. MRI検査に伴う苦痛・不安の軽減について
8. すくみ足を呈するパーキンソンズ病患者に対するきつかけ動作の考案
9. 服薬指導における理解度アンケート
10. 当院における低蛋白食事療法について
11. 糖尿病患者の現状を知るためにアンケートを実施して
12. 西暦2000年問題への対応について



特別講演「遺伝子と生命操作」笠松副院長

ナイスケア



老人保健施設ナイスケア木村が8月1日にオープンしました。当施設では、病状が比較的安定したお年寄りを対象に、看護・介護・リハビリテーション等を中心とした日常生活自立に向けての各種サービスを提供しています。利用方法は、入所・ショートステイ・デイケアと3種類あります。

入所サービスは、医師による診察、機能訓練や日常生活のお世話はもちろん、レクリエーションなど自立を目指したお世話をいたします。

ショートステイサービスは、一時的に介護することが困難になった時等、短期間（1カ月に14日以内）の入所ができます。

デイケアサービスは、お食事、入浴、機能訓練や健康チェックなどのサービスが日帰りで受けられ、無料で送迎も行っています。



病院とご家庭を結ぶ中間の施設として、家庭復帰がスムーズに行なわれるようきめ細かなサービスと最新の設備により、楽しく療養できますよう職員一同お手伝いさせていただきます。



編集後記

食欲、読書、スポーツ等様々な過ごしかたの秋がありますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。新しく、老人保健施設ナイスケア木村もオープンしました。今後も、病院とともども地域医療の充実に力を入れていきたいと思っております。お気づきの点がございましたら遠慮なくお申し付けください。

編集委員（順不同）

- 大屋 栄一 前原 正典
- 北風美寿恵 小村美穂子
- 高原 稔 多田しずよ
- 種田 敦司 松田 順子
- 水戸守 寛 村越 加代
- 清水瑠美子

